

3 ほ育舎（集団ほ育）

集団ほ育とは、子牛を群で管理し自動ほ乳装置を使用した施設のことです（写真15）。子牛を集団で管理することによって、ほ育、除ふん作業を機械化することができ、近年規模拡大している牧場で導入が増えています。

一方、集団で管理しているため、①より厳密な衛生管理（P23）、②空間が広いいため更なる寒さ対策の配慮、③飼養密度が高くなるほど通路や寝床をこまめにきれいにする必要があります。



図8 ほ育舎の内部



写真13 日当たりが良い暖かいほ育舎



写真14 換気ファンを設置し積極的に換気



写真15 ヒーターとカーフジャケットで寒さ対策



写真16 ほ育舎内部の石灰塗布

4 旧つなぎ牛舎

搾乳牛のための施設であり、子牛にはとりわけ寒さと換気の対策が必要です（写真17、18、19）。一方、除ふん作業には使用していたバークリーナー等が活用できます。子牛の管理のための改造例を紹介します。



写真17 ヒーターとカーフジャケットで寒さ対策



写真18 ビニールシートを窓に貼って寒さ対策



写真19 旧つなぎ牛舎窓に換気扇を設置した換気対策

< 旧つなぎ牛舎をペンに改造した事例 >



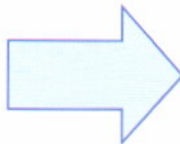
事例1 旧つなぎ牛舎をペンに改造①



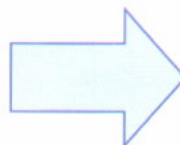
事例2 旧つなぎ牛舎をペンに改造②



事例3 ペンに改造前の旧つなぎ牛舎



事例3 給与台の設置



事例3 マットの設置で寒さ対策